

論文審査の要旨および担当者

愛知学院大学

報告番号	甲 ②	第 号	論文提出者名	大重 日出男
論文審査 委員氏名	主査 下郷 和雄 副査 栗田 賢一 有地 榮一郎			
論文題名	口腔癌患者の摂食嚥下機能の検討 -舌部分欠損の機能障害への影響と機能障害 の検出について-			

インターネットの利用による公表用

超高齢社会が到来した現在、脳卒中などの脳血管障害、慢性呼吸器疾患や、神経筋疾患に罹患している患者は増加の一途を辿っており、それに伴って嚥下機能の障害を有する患者数も増加している。一方で、局所的な理由により摂食嚥下障害を来す原因の大きなものとして頭頸部領域の切除術後例もその治療成績の向上により着実に増加して来ており、治療後の嚥下機能障害が話題になっている。

口腔癌切除後早期に的確な嚥下機能評価を行い、誤嚥を早期に検出し、適切な補助療法を行うことで誤嚥性肺炎のリスクが軽減できると考えられている。そのために、術式や切除範囲によってどのような機能障害が起こるかの予測が重要で、予測は術後早期にベッドサイドで誤嚥を検出する看護師あるいはその他のリハビリテーションスタッフなどにも重要な意味を持つ。従って、容易に嚥下機能の評価ができるスクリーニングテストがあれば生命に関わる術後合併症のリスクが軽減されうる。

本研究では、舌の切除後形態と誤嚥の関係を明らかに示し、次いで口腔・咽頭の器質的嚥下障害に各種スクリーニングテストが有用であるかを多角的に検討している。以下、各項別に記載していく。

1. 舌癌術後誤嚥と原発切除後方切除線について

術後に嚥下造影検査（VF 検査）で誤嚥を評価した舌癌症例 50 例を対象として舌の切除線と誤嚥の有無との関係を、診療録中の手術記録あるいは手術時の局所写真から切除範囲を描いて検討している。

舌切除の後方が有郭乳頭より後方の舌根を含んだものは舌部分切除術のみを施行した 31 例のうち 5 例あり、その中の 4 例に誤嚥が認められた。複合手術を施行した 19 例は全例で舌根の一部が切除され、そのうちの 11 例に誤嚥が認められている。また、舌切除線が舌根にかかるか否かで誤嚥の有無を検討して、後方が舌根にかからない症例では 24 例中 1 例で、舌根にかかる症例では 26 例中 15 例で誤嚥を認め、有意差を認めている。

2. 口腔癌術後の嚥下障害に対するスクリーニング法についての検討

口腔癌切除手術が施行されて予後および機能障害が確定した口腔癌患者のうち、術後に VF 検査および一般的に機能的嚥下障害に対して用いられるスクリーニング検査である反復唾液嚥下テスト (Repetitive saliva swallowing test : RSST)、改訂水飲みテスト (Modified water swallow test : MWST)、頸部聴診法 (Cervical auscultation : CA) が施行された 90 例を対象として、その有用性の検討を行っている。「誤嚥」の絶対評価とされる VF 検査の結果と対比して、RSST、MWST、CA での「誤嚥」に対する感度、特異度、陽性的中率、陰性的中率、有効度を算出して検討している。この感度、特異度からみると、RSST は口腔癌術後患者において誤嚥を検出するためのスクリーニングテストとしては不適切で、MWST は CA のうちの嚥下後呼気音とともに感度、特異度のいずれもが高い値を示して、誤嚥の検出に有用な方法であると結論づけている。

本研究は、比較的研究の進んでいない口腔癌術後の器質的嚥下機能障害

(論文審査の要旨)

No. 3

(2000字以内のこと)

愛知学院大学

を詳細に理解するための一連の研究の嚆矢として、口腔最大の器官で摂食嚥下に最も重要な役割を示す舌について、その切除部位と切除範囲について検討し、次いでこれらの手術後の嚥下障害を早期にベッドサイドで見つけ出す非侵襲的なスクリーニング法の適否について研究を進めたものである。

口腔癌術後の摂食嚥下障害の原因となる要素の一端を、舌の切除域から解析した結果、切除が舌根を含む場合にその発生率が高いことを明らかに示した。さらに、口腔癌術後患者の術後誤嚥のスクリーニング検査では、MWST、CAにおける嚥下後呼気音が感度、特異度、有効度ともに高値を示し、ベッドサイドで多職種が使える有用な方法であることを示した。

本研究の結果は、口腔癌治療における主治医団だけでなく、看護、およびリハビリテーションにおける重要な情報であり、さらには、患者・患者家族に情報を提供する上でも有用なものであり、口腔外科学のみならず、放射線学ならびに関連緒学科に寄与することが大きい。よって本論文は博士（歯学）の学位授与に値するものと判定した。

平成 25年 11月 13日